

明政・自由クラブ

観光丸の活用計画について

問 帆船「観光丸」について、所有するハウステンボスから長崎港での活用提案を受け、市は民間事業者を斡旋しているが、例えば軍艦島と三菱造船所を組み合わせた観光ルートを検討できないか。

答 観光丸については、長崎港の発展と長崎観光の新たな起爆剤になることが期待されることから、帆船まつりでのさらなる活用に加えて、民間事業者の活用状況等の推移を見ながら他の有効な活用策も検討していきたい。軍艦島と三菱造船所を見学する周遊クルーズの具体的な実現については、関係者との協議の中に加えていきたい。

松山陸上競技場の夜間照明の整備について

問 松山陸上競技場は広く市民に利用されている施設であるにもかかわらず、夜間照明がないことから、利用時間が限られている。夜間照明を設置し、環境整備を行えないか。あわせて、更衣

室を充実する考えがないか伺いたい。

答 夜間照明については、現在、トラック周囲に11基の公園灯を整備しているが、夜間利用の際に明るさが不足しているとの指摘も受けているため、平成23年度にトラック周辺の浦上川沿いを中心に、新たに10基の公園灯を設置するとともに、隣接する市営庭球場の改良にあわせ、更衣室等を備えた管理棟の建て替えを計画している。



長崎市営陸上競技場

日本共産党

障害児の放課後の受け入れ体制について

問 両親が共働きの世帯の障害児について、放課後、家庭で過ごすことができない場合の支援体制、特に南部地区

における状況について伺いたい。

答 本市では、放課後や夏休みなどの長期休暇期間中に、障害児の活動場所を提供するタイムケア型の日中一時支援事業を、現在、7カ所の民間事業所で実施している。同事業を行う事業所が南部にないなど利用しにくい状況にあるため、家族の要望や利用者の増加も踏まえ、今後、事業所に対し事業の展開を呼びかけていきたい。

介護家族への支援について

問 全国で高齢化が進み、老老介護による介護の悩みや介護疲れによる悲惨なニュースも聞かれる中、介護家族の悩みを聞いてほしいという声がある。本市でも家族介護者の実態調査を行い、支援体制を充実させる必要があると思うが、見解を伺いたい。

答 現在、実態調査は実施していないが、第4期介護保険事業計画策定の際のアンケート調査で、幾つかの傾向を把握している。本市が実施する家族介護教室では、介護の知識や方法を学ぶだけでなく、健康体操や心のケア、参加者同士の交流の場の提供なども行っている。次期計画策定に当たって

は、家族介護の不安や要望などを把握し、支援体制の充実を図りたい。

結核病床の廃止撤回について

問 新市立病院は結核病床を設置しない方針であるが、平成22年の長崎県の結核罹患率は全国で5番目に高く、新規患者数は県内保健所別で本市が最も多いため、県都である本市の公立病院として、方針転換すべきではないか。



新市立病院完成イメージ図

答 結核医療は中・長期療養が中心となるため、高度・急性期医療を担う新市立病院での治療は、療養環境の面でふさわしくなく、合併症のない結核患者は、環境が整った医療機関にお願いする方針で調整している。高齢化に伴い今後増加が見込まれる合併症を有する結核患者については、新市立病院での受入れを検討している。